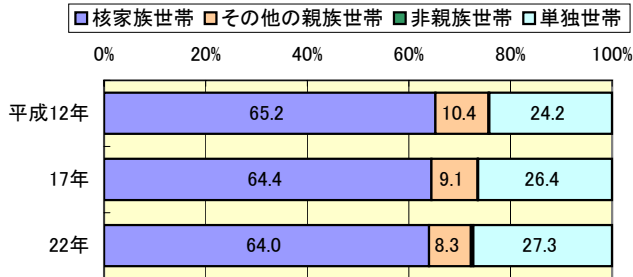


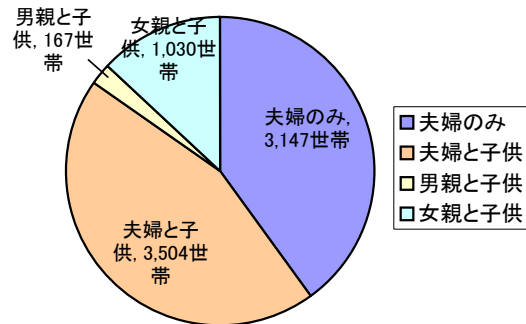
## 世帯の家族類型

- ・核家族世帯は全体の7割弱、ゆるやかな減少傾向。
- ・『夫婦のみ』『男親と子供』の世帯、『単独世帯』は増加傾向。

家族類型別一般世帯の割合の推移



核家族世帯(7,848世帯)の内訳



家族類型別一般世帯数の推移

世帯の家族類型	一般世帯数			割合(%)			対前回増減率(%)	
	平成12年	17年	22年	平成12年	17年	22年	17年	22年
総数	12,655	12,640	12,270	100.0	100.0	100.0	△ 0.1	△ 2.9
親族のみの世帯	9,575	9,294	8,862	75.7	73.5	72.2	△ 2.9	△ 4.6
核家族世帯	8,255	8,142	7,848	65.2	64.4	64.0	△ 1.4	△ 3.6
夫婦のみ	3,105	3,113	3,147	24.5	24.6	25.6	0.3	1.1
夫婦と子供	4,039	3,805	3,504	31.9	30.1	28.6	△ 5.8	△ 7.9
男親と子供	150	155	167	1.2	1.2	1.4	3.3	7.7
女親と子供	961	1,069	1,030	7.6	8.5	8.4	11.2	△ 3.6
その他の親族世帯	1,320	1,152	1,014	10.4	9.1	8.3	△ 12.7	△ 12.0
夫婦と親	227	195	187	1.8	1.5	1.5	△ 14.1	△ 4.1
夫婦、子供と親	605	456	350	4.8	3.6	2.9	△ 24.6	△ 23.2
その他	488	501	477	3.9	4.0	3.9	2.7	△ 4.8
非親族を含む世帯	20	14	57	0.2	0.1	0.5	△ 30.0	307.1
単独世帯	3,060	3,332	3,351	24.2	26.4	27.3	8.9	0.6
(再掲)								
3世代世帯	883	748	640	7.0	5.9	5.2	△ 15.3	△ 14.4

**[用語の解説] 世帯の家族類型**

一般世帯を、その世帯員の世帯主との続き柄により、次のとおり区分した。

**親族のみの世帯**—二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のいる世帯。なお、平成17年まではその世帯に同居する非親族(住み込みの従業員、家事手伝いなど)がいる場合もこれに含まれる。例えば「夫婦のみの世帯」という場合には、夫婦二人のみの世帯のほか、夫婦と住み込みの家事手伝いから成る世帯も含まれている。

**非親族を含む世帯**—二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある者がいない世帯。

**単独世帯**—世帯員が一人の世帯。

**3世代世帯**—世帯主との続き柄が、祖父母、世帯主の父母(又は世帯主の配偶者の父母)、世帯主(又は世帯主の配偶者)、子(又は子の配偶者)及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいい、それ以外の世帯員がいるか否かは問わない。したがって、4世代以上が住んでいる場合も含まれる。また、世帯主の父母、世帯主、孫のように、子(中間の世代)がいない場合も含まれる。一方、叔父、世帯主、子のように、傍系の3世代世帯は含まれない。